

“いきいき子ども！あたたか家族！はつらつ先生！” 地域が支える教育の板橋  
“学び合う、学び続ける人づくり！” 地域を創る教育の板橋

※PDFで閲覧の場合、QRコードや★のついた図をクリックいただくと、該当HPに画面が移ります。

## 教育長からのメッセージ

### 「遊び」で育つ心の成長

過日ある新聞に、「新聞で遊ぼう！」という懐かしくも楽しい記事が出ていました。その中に、次のような遊びが紹介されていました。

○ちゃんばら（刀）（新聞紙3枚、厚紙、セロテープ、鉛筆、はさみ等）

新聞紙を3枚（二つ折り）丸め、セロテープで止める→厚紙はセロテープの芯の内側の円をなぞって内側に切る→円の中心に刀を置き鉛筆でなぞる→厚紙を半分に折り、線に沿って切る→刀を厚紙にはめ、セロテープで止める→出来上がり！

○ハリセン（新聞紙2枚、のり、セロテープ等）

新聞紙1枚（二つ折り）を横半分に折り、じゃばら折りを繰り返す→もう一枚を同じようにじゃばら折りにする→2本のじゃばら折りをのりでくっつける→セロテープで持ち手を作る→出来上がり！

○新聞の上に立てなくなったら負け！

2人以上で、新聞紙1枚を広げ、一人ずつ一枚の新聞紙の上に立つ→じゃんけんをして、負けた人が新聞紙を半分に折ってその上に立つ→じゃんけんを繰り返し、新聞紙の上に立てなくなった人が負け（最後は片足立ちもオーケー！？）

○大きいのはどっち？

新聞紙1枚の四隅を一人ずつ片手でつかむ→「いち・にいの・さん」で引っ張って破る→一番大きい紙を引っ張った人が勝ち

私が幼稚園や小学校に通っていた1960年から70年代と言えば、子どもたちの多くはとにかく「遊ぶ」こと中心の毎日でした。その遊びも、今のように大人が作り上げたキャラクターグッズやゲームソフトといったものではなく、家の新聞紙や段ボール、外に落ちている棒や枯れ木やひもなど自分たちで材料を見つけ、遊びを作り出していました。それこそ、材料となりそうな何かをさわってみて、こねくり回して、変形させながら、何かおもしろいことができるかと、授業ではほとんど使わなかった脳みそから汗を流しながら一人で考えたり、友達と考え合ったりしたものでした。実は、この記事を読んで孫が遊びに来た時に新聞紙の遊びをしてみたところ、予想以上に喜び、大いに盛り上がりました。

それを見て、子どもに願う遊びとは、「おもちゃに遊ばれる遊び」でも「大人が設計したルートをクリアしながらたどる遊び」でもなく、身近にある素材や道具、場所を使って子ども自身が発見し、自ら工夫しようとする遊びなのではないかと思いました。新聞記事に、そういった自分で遊びを工夫する中で、気付いたり予想したりする**思考力**、あきらめずにやり続ける**粘り強さ**、難しいことにも取り組もうとする**挑戦意欲**、感情をコントロールする**自制心**、失敗しても立ち直り前へ進もうとする**回復力（レジリエンス）**といった、数値で測ることのできない力、「**非認知能力**」の芽が育まれていくと書かれてありました。これは、まさに「心の成長」そのものです。幼稚園や保育所での「遊び」を中心とした保育や、小学校生活科の重要性にも改めて合点がいきました。

Society5.0社会の到来に向け、自ら考え、判断し、行動する力がこれまで以上に求められると言われています。そのスタートは、身の回りにある何気ない素材や道具を使って、乳幼児から自分で自由に遊びを工夫し、楽しむ経験なのかと思うのですが、いかがでしょうか。

（2020年9月27日 東京新聞サンデー版参照）



教育長 中川 修一



←こちらから学校訪問の様子がご覧になれます。

また、板橋区公式ホームページからもアクセスできます。

学校訪問

検索

## 郷土資料館 展覧会のご案内 知られざる板橋の歴史を見つけに来ませんか？

### ■区制施行90周年記念展

「板橋区の成り立ちとあゆみ」

日程：4月23日(土)～6月19日(日)



昭和40年頃の板橋区役所

★ 古代に始まる役所の歴史を解説するとともに、北豊島郡の郡役所が置かれ、中心地となった板橋地域と板橋区のあゆみを紹介します。また、昔と現在の仕事の違いから、現在の区役所の姿を明らかにします。

### ■コレクション展

「クイズ！くずし字、読んでみよう—頼朝・和宮編—」

日程：5月10日(火)～7月31日(日)



義経記

源頼朝については、頼朝が軍勢をつけたとされる地名としての「板橋」が確認できる軍記物語類をご紹介します。また皇女和宮については、将軍徳川家茂との婚儀の前段階で和宮一行が通過・宿泊した中山道板橋宿の記録類をご紹介します。

### ■ミニ企画展「高島平誕生ストーリー」

日程：4月5日(火)～7月3日(日)

今回のミニ企画展では高島平の名前の由来になった高島秋帆と団地建設に関する資料から見てくる昔の高島平と高島平の学校で確認できる高島秋帆の名残について紹介します。

高島秋帆の家紋

高島平の学校でも似たマークを見かけます  
どこにあるでしょうか？



【問合せ】板橋区立郷土資料館 ☎：5998-0081

※休館日：月曜日(祝祭日の場合、翌火曜日)

## 教育科学館へ あそびにきませんか？

教育科学館には、各種のイベントだけでなく、プラネタリウムや、体験しながら科学を学べる科学展示室などもありますので、ぜひご来場ください。

**入場無料**  
※一部、有料イベントも開催します。

**予約不要**  
※コロナ対策のため入場制限を行う場合がございます。

おおきな **ドライヤー** で  
フワフワ うかべてみたり...

おはな や、やさいに、  
おながく をさかせてみたり...

**スライム** をつくって、  
ねちょねちょ してみたり...

教育科学館には、  
実験室とか、創作室とか、  
スタジオとか、研究室とか、いろんな  
部屋があるって知ってた？ 遊べる常設展示  
室や、星がキレイなプラネタリウムだけ  
じゃないんだよ。教育科学館にいる  
研究員たちが、いろんな部屋で、  
いろんな実験や研究をしている  
のが「ラボらぼ!!」。さあ  
今日は、どの研究員が  
どんな実験をして  
るかな？

へんてこでふしぎな  
**ロボット** や **アクセサリー** を  
つくってみたり...

いつ、なにをやっているかは、おたのしみ...

オープン!ザ!

きょういくかがくかん!!

の、すべてのへや

新しい 企画 画かく!!

**「ラボらぼ!!」**

教育科学館の  
イベント情報は  
[こちら](#)



ITABASHI Science Education HALL  
板橋区立教育科学館

【問合せ】教育科学館 ☎：3559-6561

## 新入学児童保護者必見!! 自分の身は自分で守るために!!

志村警察署が、横断歩道を渡るときに注意すべき点などをまとめた短編動画「通学路を歩こう!」を作成しました。

歩行中の事故に遭う死傷者数は7歳児が最も多いため、新入学児童の保護者の皆さまは是非ともお子さまと一緒にご視聴いただき、学校までの通学路を一緒に歩き、安全確認をするときの参考にしてください。

また、他学年の児童の保護者の皆様も確認を兼ねて、お子さまと共にご視聴いただければ幸いです。

【問合せ】地域教育力推進課地域連携係 ☎：3579-2619

### ●公開中の動画 「通学路を歩こう!」

#### ●視聴方法

区ホームページ  
「チャンネルいたばし」

(YouTube) に掲載

※5分程度の動画が1本  
※動画視聴にかかる通信料は、ご負担ください。



↑をクリックするとYouTubeに飛びます